

バランスシートでみる北上市の財政

平成30年度決算版（令和元年5月末日現在）



貸借対照表ともいい、北上市が市民サービスを提供するために保有している財産（資産）と、その資産をどのような財源（負債・純資産）でまかなってきたかをまとめて対照表示した一覧表です。

バランスシートとは？

固定資産の内訳

●有形固定資産 1,189億円

○事業用資産(小中学校・市役所庁舎等) 534億円

うち 土地 247億円
 建物 250億円
 工作物 27億円
 その他 9億円

再調達価格 731億円…A
 減価償却累計額 481億円…B
 ※老朽化比率65.8%(B/A)

○インフラ資産(道路・橋・公園等) 649億円

うち 土地 172億円
 建物 2億円
 工作物 462億円
 その他 13億円

再調達価格 1,193億円…C
 減価償却累計額 731億円…D
 ※老朽化比率61.3%(D/C)

○物品 7億円

●投資その他の資産(出資金・基金等) 164億円

北上市が保有する固定資産のうち9割弱が土地や建物などの有形固定資産です。そのうち8割以上を道路・公園・市営住宅などの土木分野と小中学校・幼稚園などの教育分野で占めており、多くの財源がこの分野に投入されてきました。

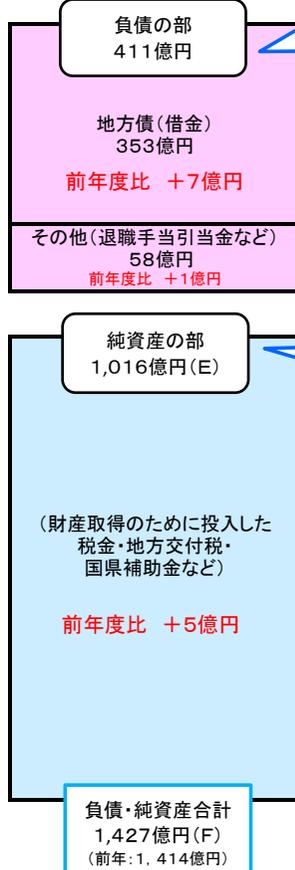
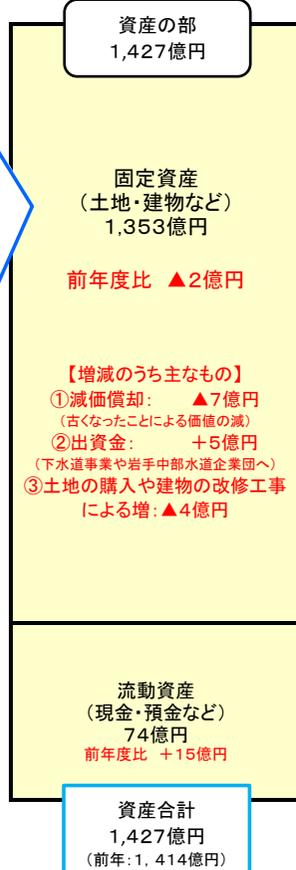
また、有形固定資産の老朽化比率が60%を超えており、保有資産の更新と長寿命化への取り組みが課題となっています。

さらに詳細な情報をお知りになりたい場合は、北上市役所ホームページをご覧ください。(URL:<https://www.city.kitakami.iwate.jp/>)

問い合わせ：財政課財政係 ☎0197-72-8249(直通)
 E-mail: zaisei@city.kitakami.iwate.jp

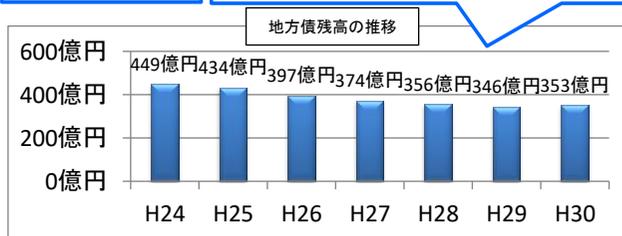
市民サービスを提供するために市が保有する財産

財産を取得するために投入した財源



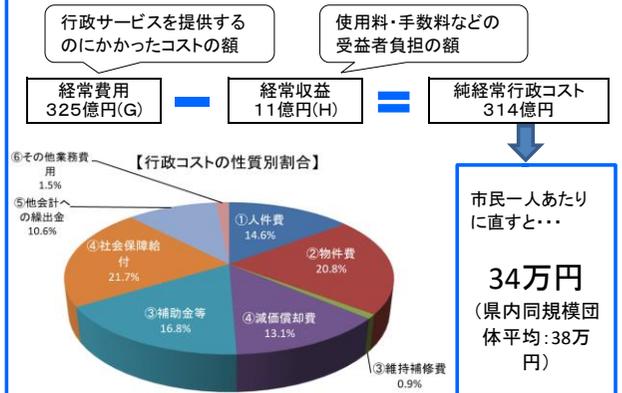
財産を取得するために投入した財源のうち、将来世代が負担する部分

地方債残高は経営改革の取り組みにより年々減少してきましたが、平成30年度は昨年度より増加しました。今後も、計画的な市債の発行に努めていきます。



財産を取得するために投入した財源のうち、過去世代または現世代が負担した部分

1年間の行政コストの状況(行政コスト計算書より)



行政コストの内訳では、県内の人口5~10万人の団体と比較して、減価償却費、社会保障給付、他会計への繰出金の割合が高い傾向です。

また、受益者負担比率(H/G)は、わずか3.4%であり、行政サービスのほとんどを市税や地方交付税などで賄っている状況です。

昨年度より流動資産が大きく増加しています。南部工業団地及び産業業務団地の土地売払収入(約12億円)を市債管理基金に積立てたことが大きな要因です。